

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2017年4月30日】

団体名 自立援助ホームカムイ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

入居者の中間就労の場の確保と地域共生交流事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

仕事に就いていない子ども達が多く入居しているため、毎日職員と一緒に日中活動を行うことで、大人への信頼を回復すると共に心も育てていきたい。また、地域住民としての自覚と助け合いの心を育てられたらと思う。生活リズムを整え、働く準備をしていく。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当事業所は、共生型の機能を持ち、地域交流スペースや高齢者のデイサービスも一緒に活動している。しかし、現在電話回線が1本しかなく、全体で使っているため、カムイが単独で使えるものではない。その為、子ども達が地域交流スペースで、地域の方々との交流や就労に向けての活動がカムイの職員室のある3階に限られてきた現状がある。今回の助成金で、カムイの単独の電話線をひき、共生型全体での交流や地域の方々の交流も増やし、職員と活動する機会も増やした中で、子ども達の心の回復と就労への意欲を育てたい。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回の助成金で、地域活動スペース、高齢者スペース、カムイ職員室に単独の電話回線をひき子機も設置した。電波も強く、施設全体で移動しながらでも連絡がとれるようになった。そのことにより、子ども達だけで行くのは拒んでいた、高齢者棟へのボランティア交流や地域活動スペースへの活動も職員と共に参加できるようになり、同時にカムイにかかってくる電話も施設全体でとれるようになった。現在、日中の活動時間については、1階の地域交流スペースで月、水、金とプログラムを作り自立に向けた活動を行っている。そのことにより、子ども達の大人への信頼感と活動意欲は育ち、子ども達それぞれの今後の課題と見通しを子ども達とも確認することができた。子ども達の昼夜逆転がほぼなくなった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

思っていた以上に職員全体が入電を気にして、職員室中心で活動していたんだと気づきました。その結果、良い活動スペースがあっても機能させることができなく、普段職員と活動したいと思っている子どもの意欲やアセスメントについても意識的に薄かったような気がします。当援助ホームは、心や就労意欲を育てていくことも1つの目的と考えておりますので、今後についても、子ども達と関わる時間多く持ち、いろいろな体験を一緒にすることにより共感を肌で感じながら、共に成長していけたらと考えております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

【管轄所について】

健康を維持するために適切な生活習慣を身に付け、感染症対策への取り組みの徹底と健康増進に取り組むこと、また、健康増進に努めます。

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...

【住所の申請について】

現在、お住まいの住所が、本施設の利用に支障を及ぼす場合は、お住まいの住所を本施設に申請してください。

健康を維持するために適切な生活習慣を身に付け、感染症対策への取り組みの徹底と健康増進に取り組むこと、また、健康増進に努めます。

健康を維持するために適切な生活習慣を身に付け、感染症対策への取り組みの徹底と健康増進に取り組むこと、また、健康増進に努めます。



ストーブの消し



